



地域とともにある学校づくり

～別海型コミュニティ・スクールについて～



今回は、本年度から本格実施している上春別学校区に続き、来年度から本格実施となる、試行実施2年目の、野付、中西別、上西春別の3つの地区の取り組みを紹介します。

1 野付学校区「めざす子ども像とメディア・コントロール」

野付学校区では、幼稚園と小中学校が、保護者と地域の方々にアンケートを募り、野付学校区としての「めざす子どもの姿」を設定しました。また、子どもたちのスマホ所持率の高さから、スマホやゲーム等に接する時間「メディアタイム」の長さなどを課題として捉えました。本町が以前から取り組んでいる「スイッチオフ22」のように、スマホ等を持たせないのではなく、ルールやマナーを守り、適切に使用する「メディア・コントロール」に取り組んでいます。

これらをチラシやポスターにまとめ、全戸配布や施設への掲示により、学校区全体に周知するなど、取り組みを進めています。



全戸へ配布したチラシ

2 中西別学校区「合同避難訓練」

コミュニティ・スクール（以下CS）推進委員会が主催となり、中西別学校区では4年ぶりとなる地区合同避難訓練を9月25日に実施しました。幼稚園と小中学校そして地域の方々を含め、約90名が参加しました。4年前は中学校を会場としていましたが、CS推進委員会による協議の結果、北海道胆振東部地震時の停電被害を想定し、発電機があり、町の指定避難施設となっている「中西別ふれあいセンター」に会場を変更しました。訓練は震度5強を想定し、子どもたちが幼稚園、小中学校から徒歩でセンターへ移動した後に、教職員が家族に子どもを引き渡すまでの内容で行われました。訓練後には、CS推進委員の方々が集まり、今後に向けて改善等の意見交換を行いました。

こういったCS活動をとおり、本町では幼稚園、小中学校の連携を進めていきます。



引き渡しの様子

3 上西春別学校区「教育フェスティバル」

「地域ぐるみで子どもの育ちを考える日」として、地区生涯学習推進協議会が主催する「上西春別学校区教育フェスティバル」が、9月22日に開催されました。

CS推進委員会コーディネート部会では、中学校の「地域開放型図書室」を活用した、地域の読書活動の充実を図るための取り組み「中学生による絵本の読み聞かせ」や、「地域によるキャリア教育」として小学校で仕事体験、中学校では職業講話の、企画から運営までの全面的な支援を行いました。

フェスティバル当日は、「中学生による絵本の読み聞かせ」に幼児を連れた多くのご家族が訪れ、仕事体験と職業講話では、約20もの地元事業所に講師を務めていただきました。

今後も、本町CSとして持続可能な取り組みとなるよう、既存の仕組みや事業を生かすことを指針として事業を進めていきます。



絵本の読み聞かせ

還暦トレーニング教室

本年も還暦者を対象とした冬季のトレーニング教室を開講します。ふゆとぴあイベントへの参加、阿寒湖バス遠足など、楽しいプログラムを企画しています。毎年参加されている方はもちろん、まだ参加したことのない方もぜひ、ご参加ください。

- 日 時 平成30年12月10日から平成31年3月18日の祝日を除く毎週月曜日に全10回(予定)
午前10時から午前11時30分
- 対象 象 60歳以上の男性、50歳以上の女性
- 定 員 30名
- 参加料 2,000円※初回に集めます。施設使用料はかかりません。
- 初回集合場所 町民温水プール
※町民体育館は内部改修工事のため使用しません。
- 持ち物 上靴、汗拭きタオル、飲み物
- 申込締切 12月7日(金)

エンジョイ軽運動

運動不足になりがちなこの時期、みんなで楽しみながら体力作りませんか。ウォーキングやストレッチなどの軽い運動をして、寒さで縮こまった身体をほぐしましょう。

- 日 時 平成30年12月10日から平成31年3月18日の祝日を除く毎週月曜日に全10回(予定)
午後2時から午後3時
- 対象 象 軽運動に興味のある方
- 定 員 20名(別海町在住の方優先)
- 参加料 無料 ※施設使用料のみ受講者負担
- 初回集合場所 町民温水プール
※町民体育館は内部改修工事のため使用しません。
- 持ち物 上靴、汗拭きタオル、飲み物
- 申込締切 12月5日(水)

トレーニング講習会

トレーニングマシンを利用した安全で効果的なトレーニング方法を紹介します。

- 日 時 11月26日(月)
午後7時から午後8時30分
- 対象 象 高校生以上
- 定 員 15名程度(別海町在住の方優先)
- 参加料 無料 ※施設使用料のみ受講者負担
- 会場 町民温水プール内トレーニングルーム、トレーニングフロア
- 持ち物 動きやすい服装、上靴、汗拭きタオル、飲み物
- 申込締切 11月22日(木)

※保険については各自で対応願います。

別海町総合スポーツセンター TEL75-2882 FAX75-0418
Eメールsports@betsukai-pf.or.jp

お申し込みの際は、氏名、年齢、住所、電話番号をお伝えください。

まるまる 協力隊の〇〇な話

倉持龍太郎



夏休みをいただいて東京の実家で1週間過ごした後、別海に戻ったら、なんだかホッとしたという話を。飛行機を降りて車を走らせながら別海町の見慣れた景色が目に入ってくると、「帰ってきた感」を感じました。着任した当初はどこに行っても初めての景色だったり、どこか自分が別海町に「来た人」という感覚もあったせいか、なんとなく距離を感じていたのが嘘のようです。「あそこの牧場、新しい牛舎を建てたのかあ」とか、「今年の夏はジメッてるなあ」など、一丁前に町民目線を持ち始めているし、なんだかんだ別海町が好きだからこうやって生活できているんだろうなと振り返りました。そんな時に職場の先輩からも「今年は表情が特に明るくなった」と言われて、それもまた嬉しく、これからも住んでいたいなあと思ったり。とはいえ、まだ居住歴3年目の別海町初心者。新しい発見や情報、人との出会いを大切に今年の冬も過ごしていけたらと思っています。

夏休みをいただいて東京の実家で1週間過ごした後、別海に戻ったら、なんだかホッとしたという話を。飛行機を降りて車を走らせながら別海町の見慣れた景色が目に入ってくると、「帰ってきた感」を感じました。

